

研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

脳萎縮進行度に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

1988年1月1日から1999年3月31日に昭和大学病院の神経外科に入院もしくは外来受診された患者さん及び1999年4月1日~2010年12月31日に昭和大学病院附属東病院脳神経内科に入院した患者さん、または外来受診をされた患者さん。

2. 研究目的・方法

加齢とともに脳は萎縮していきますが、その程度は個人ごとあるいは疾患ごとに異なります。これまで筋萎縮性側索硬化症という神経難病における認知機能と脳萎縮の関係について研究を進めてまいりましたが、本研究では患者さんが日常診療において受けた脳CTまたは脳MRI検査画像を調査し、脳萎縮の進行度を疾患ごとに調べます。脳萎縮度の平均的な進行度を明確にすることで、病的な脳萎縮の有無の判定に有用な知見を得ることを目的とします

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

脳CTおよび脳MRI画像、年齢、性別、疾患名、服薬内容を含む臨床情報。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院附属東病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定します。保存されたデータは研究責任者が昭和大学藤が丘リハビリテーション病院内の施設可能な場所で使用します。

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 市川 博雄
分担研究者 昭和大学病院附属東病院 村上 秀友

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 氏名：市川 博雄 住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1 電話番号：045-974-2221